



令和5年度 学校便り **藍志(あいし) 第1号**
令和5年(2023年)4月28日
発行者: 藍住中学校 西山伸二

「ファーストペンギン」～第1学期始業式式辞より～

みなさんは「ファーストペンギン」という言葉を聞いたことがありますか。ペンギンの群れには特定のリーダーは存在しません。エサを捕るときに海に入るのにも、集団性が強いので、群れの中の誰かが海に入るまではみんな氷の上にとどまって動きませんが、誰か一羽でも先陣をきって海に飛び込めば、後に続けとばかりに次々と海に入っていくのです。そこには恐ろしい天敵が待ち受けているかもしれませんが、身をもってその海が安全であることを仲間を示すと共に、自分も多くのエサを得ることができるのです。今回の藍住中学校の生徒会の取組(校則の見直し等)は、徳島県におけるまさしくこの“ファーストペンギン”の役割を与えられたのだと思っています。これからの社会は予測不能で、求められるのは自分で会社を立ち上げ、新しい価値を創造していくような「起業家精神」だと言われています。藍住中学校の教育目標は「自己を見つめ チャレンジで世界を広げよう!」です。「とにかくやってみる」ことを大切に、その土台となる力を養ってほしいと願っています。

「インドの旅で学んだこと」～入学式式辞より～

私は二十一歳の誕生日の日、「このまま日本でずっといいのだろうか。世界を見たい! そうだ、インドに行こう!」そう急に思い立って、旅行会社に行きました。海外に行ったこともない、ましてや飛行機にも乗ったことがない私は、なかなか手続きをしてもらえませんでした。それでもお願いして、1ヶ月のインドへの寝袋を背負っての一人旅が始まりました。全く文化も違い、言葉もよく分からない、もちろん知っている人もいない。あの時ほど、自分で考えて行動することの重要性を感じたことはありませんでした。毎日のようにハプニングがあり、一日が1ヶ月にも感じられるようでした。しかし、そのときに学んだことは、今の自分自身をつくってくれています。今の日本の暮らしは、世界から見ればとても恵まれていること。それでも私たちがあまり幸せを感じないのは、幸せを周りと比較してしまうこと。日本ではあまりにも周りの目を気にし過ぎていることなど、今まで自分が当たり前と思っていたことが、そうではなかったということに気づかされました。そしてその気づきは、今でも物事を考える大切な土台となっています。



吹奏楽部演奏会 in 正法寺川クラフトマーケット

4/2(日)午前10時30分より、藍住町総合文化ホール前広場にて「正法寺川クラフトマーケット」にて吹奏楽部の演奏会がありました。まちのイベントに参加するのは今回が初めてで、コミュニティ・スクールの一環として「地域に貢献しよう!」という思いで、藍住東中学校と共に参加しました。初めての屋外での演奏でしたが、選曲から演奏まで心和む時間となり、中学生の力と音楽の魅力を実感した演奏会でした。



P T A 授業参観が4年ぶりに人数制限なしに開催

4/22(土)にP T A 授業参観・P T A 総会が4年ぶりに人数制限なしで開催することができました。受付名簿によると、半数を超える保護者のみなさまの参加を得ることができました。実際に学校での子どもさんの活動の姿を見ていただくことは、何より学校のことを知っていただくかけがえのない機会だと感じました。これからも是非、機会あるごとに学校にお越しください。

